



のがみがわ

湖南省立日枝中学校学校だより
令和4年(2022年)10月6日
和衷共済(わちゆうきょうさい)

心を合わせて協力して物事を行うこと。和衷は、心の底から一つに合わせること。

文責 校長 藪下 和彦

創立40周年を迎えて



体育祭開会式の中でもふれました。創立40周年を迎えた日枝中学校。校舎東側の壁面、玄関に向かって左前方に、「輝く明日を築こう日枝中 WE LOVE HIE」の看板を掲げました。皆さんから募集した、創立40周年記念のスローガンです。令和3年度の卒業生が考えた、ゆるキャラ「ヒエール」も看板と一緒に加えることができました。「太陽のように元気。みんなにエールを送る」という意味も込められています。この先10年間、たくさんの思いを込めて、この場所から日枝中に通う生徒を見守ってくれます。また、卒業生には「がんばれ！」

のメッセージを送り続けます。本来ならば皆さんとともに、除幕式をしたかったのですが、この紙面にて看板設置のことを伝えることにしました。

新型コロナウイルスが流行した年に入学してきた3年生。学校生活の中で自分たちを磨き成長させる大切な行事が、ことごとく延期や中止となりました。嘆き悲しむ先輩方の姿を目の当たりにしてきた皆さんは、この先一体どうなっていくのだろうかという不安な毎日を送ってきたと思います。1、2年生の人たちは同様に小学校生活も含めコロナ禍の中で過ごしてきました。学校生活はもちろんのこと、社会が閉塞感に包まれ先行きが見通せない暗闇の中で、もがき苦しむ生活が続きました。でも、かすかな光も見いだされはじめ、少しずつではありますが規模や内容を工夫した形で、多くの行事が実施できるまでになりました。

「輝く明日」とは、まさに自分たちの明日を輝かしいものにする。そのためにまずは一人ひとりが輝ける毎日を送ることが大切です。学校だけが、地域だけが、先生方だけが輝いていても「輝く明日」は築けません。輝き続ける日枝中学校であるために、一人ひとりの存在は欠かすことができません。そして、一人ひとりの存在とは今日まで、日枝中学校の発展に努めてくれた先輩、5092名もその一人の存在です。「輝く明日を築こう日枝中」には、卒業生含め、今までこの日枝中学校に関わってくださった人が築いてきた、そしてこれから先築いていこうとする全ての人の思いが、このことばに込められ託されています。

「WE LOVE HIE」については、日枝中学校が母校であることに、誇りと自信を持つとういうことです。でも、日枝中学校がよい学校でなければ、胸を張って「私は日枝中生です」と言えないでしょうから、「WE LOVE HIE」ということばにも、よりよい学校を創ろうという意味が込められています。ブロックやレンガを積み上げるように、一つひとつ学校づくりをしてくださいました。節目の年に在学する私たちは、先輩からのバトンを受け取り、さらによりよい学校づくりに励まなくてはなりません。そのためのスローガンを掲げた看板を除幕しました。みんなで、「輝く明日を築こう日枝中 WE LOVE HIE」を合言葉にして、新しい、楽しい学校づくりに努めたいと思います。みんなの力が必要です。お世話になっている地域の皆さんへの“感謝”の思いも新たにしながら、「私たちにはできる」の強い意志をもって進みましょう。



心の動きと成長

全校の皆さん おはようございます。

いよいよ体育祭当日を迎えました。今年創立40周年の節目の年にあたる体育祭となります。創立40周年を機に、校舎東側の看板の文字も「未来へ羽ばたく日枝中」から「輝く明日を築こう日枝中」に書き換えられました。「輝く明日を築いていく」には、ここにいる一人ひとりの存在そして力が必要です。8月下旬から始まった体育祭の取組。昨日より今日、今日より明日と「輝く自分」、「成長した自分」を実感している人も多いことと思います。

そのような中で、体育祭の取組をとおして、3年生の姿には目を見張るものがありました。「大縄跳び」や「よさこいソーラン」の練習で、1、2年生の人たちに丁寧に分かりやすく身振り手振りをまじえて教えている姿がありました。また、できるようになったことを笑顔で伝える姿があり、それを励みにさらに自分自身を高めていこうとする1、2年生の姿も見受けられました。

そして「全校よさこい」を引き立てる「龍陣太鼓」が昨年度に引き続き披露されます。昨日の全校練習では、全校生徒の前で初めてのお披露目となりました。演奏を食い入るように見ていた皆さんの眼差しが印象的でした。手のひらにできたマメが破れるぐらい、一生懸命練習してきたその成果を存分に発揮してください。

それではこれから体育祭実施にあたって、皆さんに2つのことを伝えたいと思います。

1つ目は、今日は、競技や演技をする人、それを見る人、そして支える人、誰もがすべての立場になります。どこで自分の心が動いたか、どこで感動したか、涙が出そうになったか。そして、自分たちの演技を魅せる、観てもらおう場面もできました。観ている人に感動を与えるためには、どういったことが必要になるのか。今日はそういったことを経験する体育祭にしてほしいと思います。

2つ目は、競技に入る前に、または自分の出番の前に胸に手を当ててみてください。「ドキドキしている人、いつもより心臓の音が早い人」、それは、心が成長する準備をし始めているということです。自分の成長はもとより、仲間の成長、学級学年の成長が少しでも感じられるそんな体育祭となるよう願っています。

最後になりましたが、3年生の保護者のみなさまに高いところからであります。一言ご挨拶申し上げます。3年ぶりに保護者の皆さまに観ていただく体育祭となりました。お子様の成長した姿を間近で観ていただき、そこから何かを感じ取っていただき、残りの学校生活が少しでも充実したものになるよう、各ご家庭でも話しをしていただけると幸いです。それでは皆さん、全ての場面において全力で頑張ってください。

上記の内容は、体育祭の開会式で皆さんに伝えたことです。全ての競技において、皆さんが集中して全力で取り組む姿を多くの場面で観ることができました。昨年度に引き続き規模は縮小されましたが、大変中身の濃い体育祭となりました。この取組をとおして、個人や学級、学年としての成果と課題も発見できたと思います。もう一度、自分たちの普段の生活を振り返ると同時に、今月末に予定されている文化祭に、どうつなげていくかが大切です。そのためにも振り返りを丁寧にすることと、「切りかえと繋がりを大切に」、次の行事に向けた目標設定をお願いします。

生徒会長：S.Kさんの挨拶で開幕



みなさんおはようございます。いよいよ体育祭本番となりました。さて、今年の体育祭スローガンは「旭日昇天」です。旭日昇天とは、「朝日が昇るときのように非常に勢いがある」という意味で、全校生徒がともに協力しながら、目標に向かって全力で挑んでほしいという願いを込めて今年のスローガンにしました。今日までの日々の練習で、団長や団リーダー、クラスのみならずたくさん試行錯誤しながら頑張ってきたことと思います。その頑張りをこの体育祭にぶつけて、今日という日を最高の一日にしましょう。

最後になりましたが保護者の皆さま、本日はご多用の中、私たちの体育祭にお越しくださりありがとうございます。仲間とともに精一杯頑張りますので応援よろしくをお願いします。さあみなさん、いよいよです。「今年の体育祭は最高だった。」そう思えるように、全校生徒一丸となって頑張っていきましょう。

☆☆ギャラリーのがみがわ(体育祭編)☆☆

生徒会執行部 K.Iさんの開会宣言



「ただいまより、日枝中学校第40回体育祭を始めます。」胸を張って堂々とはっきりとした大きな口調で、開会宣言がされました。全校生徒の表情も、この開会宣言を聞き、これから始まる競技に備える心構えが整ったように感じました。

生徒会執行部 K.Nさんの競技上の諸注意



競技上の諸注意が体育委員長のNさんから伝えられました。けがのないよう、また楽しく安全な体育祭を全校生徒で意識しながらつくり上げていくための内容でした。

生徒代表 K.Kさんの選手宣誓



「宣誓、私たち生徒一同は、全ての方々への感謝の気持ちを胸に、一生懸命競技することを誓います。令和4年9月29日生徒代表 K.K」視線をそらすことなく、ひと言ひと言大きな声ではっきりと選手宣誓がされました。

旭日昇天

今年の生徒会が掲げた体育祭のスローガンは、「旭日昇天」でした。9月に入っても暑さが続く中、スローガンに込められた思いを実現すべく、勢い盛んに全校生徒が一丸となって一生懸命に練習を重ねてきました。「ひとりではがんばる みんなでがんばる」が、体育祭という場面でも随所に見受けられました。自分の成長はもとより、仲間、学級、学年、学校としての成長も感じられた体育祭となりました。

全校よさこい2022 生徒会執行部 R.Aさんの挨拶



オープニングの言葉より↓
2022年、日枝中学校体育祭、伝統のフィナーレ、よさこいソーラン。日枝中よさこいソーランも今年で24年目を迎えました。今年は「旭日昇天」というスローガンのもと、これまで以上の体育祭にしようとして、3年生の団リーダーを中心に、夏休みから取り組んできました。団長や団リーダーは試行錯誤を重ね、よさこいの踊りをつくりあげてきました。また、その踊りをみんなに教えたり、みんなをまとめたりしてきました。その中で、うまくみんなに伝えられなかったり、みんなをまとめられなかったりした時もあり、辛くてやめたくなる時もありましたが、団長、団リーダーを中心に心をひとつにして、それを乗り越え、今日という日を迎えることができました。私たちは、この取組をとおして、仲間の大切さや、何事も最後まであきらめない気持ちを学びました。さあ、いよいよ、よさこいソーランの始まりです。たくさん練習を重ねた3年生の代表による龍神太鼓がオープニングを盛り上げます。太鼓の音をしっかりと心に刻みこみ、最後まで楽しく声をあげて精一杯踊りましょう。輝ける舞台はここにあります。練習の成果を今ここに大切な仲間とともに発揮しましょう。また、みんなの記憶に残るような最高のよさこいソーランにしましょう。

☆龍神太鼓 お見事でした!!☆

日枝中学校全校よさこいのオープニングを飾る「龍神太鼓」。昨年度見事に復活を遂げ今年度、見事に引き継がれました。夏休みの後半から取り組みを開始し、練習会場は格技場で、冷風機を入れながら、とても過酷な状態での練習でした。



生徒会執行部:K.Eさんの挨拶で閉幕



「みなさん、とても暑い中お疲れ様でした。白熱した競技の数々やよさこいソーランはとても感動的で思い出に残るものとなりました。今年のテーマである、「旭日昇天」にぴったりで、とても一体感を感じました。これまで、団長や団リーダーが中心とした3年生の頑張る姿は、1、2年生にとっても記憶に残る大きな1ページになったと思います。この記憶を大切に来年度の体育祭を築いてほしいと思います。最後になりましたが、応援して下さった保護者のみなさま、一生懸命ご指導して下さった先生方、本当にありがとうございました。それから、来月は文化祭があります。これまでの練習や体育祭で培ったチーム力をいかしてクラス一丸となって頑張りましょう。

優勝は青团 R.H団長の挨拶



「皆さんお疲れ様でした。最初は声も小さかったよさこいソーランでしたが、各団の団長やリーダーが頑張り、みんなが元気で楽しく終われたので良かったです。3年生は進路に向かっていきますが、行事がひとつ終わり、勉強への切りかえも大事しながら、次の行事へつなげていけるように頑張りましょう。」最高学年としての充実した面持ちが印象的でした。



さすがは3年生 息の合った場面がたくさん観られたシーン

今年の体育祭は、1、2年生に対して、3年生の教える、認めるといったお互いの学び合いが多岐の場面で見られました。自分たちが先輩から受け継いだ団活動のあるべき姿や、大切にすべきところを忠実に引き継ぎながら実践へと繋げていってくれました。ありがとうございました。